

議会だより

2015年 2月 北海道中川郡豊頃町議会発行



12月定例会

第4回定例会は、12月10日から開会され、補正予算など町長提案21議案を、いずれも原案どおり可決、16日に一般質問、議員提案の意見書の決定等を行なって閉会しました。

補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計（第6号）臨時会 専決	648万円	43億5千495万円
一般会計（第7号）臨時会 専決	450万円	43億5千945万円
一般会計（第8号）臨時会	207万円	43億6千152万円
一般会計（第9号）定例会	1億2千166万円	44億8千318万円
国民健康保険特別会計（第2号）定例会	22万円	6億1千426万円
介護保険特別会計（第2号）臨時会	27万円	3億8千551万円
介護保険特別会計（第3号）定例会	175万円	3億8千726万円
後期高齢者医療特別会計（第1号）定例会	△449万円	5千836万円
医療施設特別会計（第2号）定例会	30万円	1億5千145万円
簡易水道特別会計（第3号）臨時会	275万円	2億8千895万円
簡易水道特別会計（第4号）定例会	371万円	2億9千266万円
公共下水道特別会計（第1号）臨時会	6万円	2億749万円
公共下水道特別会計（第2号）定例会	180万円	2億929万円

補正予算の主なもの

11月26日 第3回臨時会

- 議会議場の音響設備の老朽化による更新経費の専決処分
- 衆議院選挙経費の専決処分
- 人事院勧告による職員人件費等の補正

12月10日 第4回定例会

- 帯広厚生病院運営費補助金 288万円
- 農地中間管理機構集積協力金交付事業補助金 2千658万円
- 高齢者住宅用地取得 1千10万円
- 消防救急無線デジタル化共同整備事業のため、東十勝消防事務組合負担金 8千737万円
- 各工事費等執行算の減額

表示の金額は、一万円未満を四捨五入しています。

※専決処分とは、議会を開くいとまが無いときなど、議会にかわって町長が処分（決定）するもの



〔 条例制定等 〕

- ▼豊頃町福祉施設条例の一部改正
茂岩栄町の「旧茂岩河川事務所」を「豊頃町福祉センター」として、福祉施設に追加。
- ▼豊頃町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定
子ども・子育て支援法の規定に基づき、特定教育・保育施設等の運営基準を定める条例。
- ▼豊頃町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
▼豊頃町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
児童福祉法の規定に基づき、家庭的保育事業等、放課後児童健全育成事業を行う者の設備及び運営の基準を定める条例。
- ▼豊頃町保育の必要性の認定に関する基準を定める条例の制定
子ども・子育て支援法の規定に基づき、保育の必要性の認定に必要となる基準を定める条例。
- ▼豊頃町乳幼児等医療費給付条例の一部改正
▼豊頃町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正
基本となる法律名の改正及び、児童福祉法の改正に伴い、障害児童施設が一元化されたことによる対象施設名の整理。
- ▼豊頃町国民健康保険条例の一部改正
出産育児一時金の額を39万円から40万4千円に改正（ただし、規則で加算金の改正があるので、現行に変更はない）。
- ▼公の施設に係る指定管理者の指定
町有牧野（公共育成牧場3箇所）の指定管理者に豊頃町農業協同組合を指定。平成27年4月1日から平成30年3月31日まで。
- ▼とちか広域消防事務組合の設立
消防に関する事務を共同処理するため、規約を定め、とちか広域消防事務組合を設立。平成28年4月から。
- ▼東十勝消防事務組合の解散
消防事務が、十勝全体で広域化されるのに伴い、平成28年3月31日を

もって解散。

教育委員会委員の任命

教育委員会委員の任期満了に伴い、現職の櫻井康雄氏（二宮）を任命したいとの提案があり、これに同意しました。任期は、平成26年12月25日から平成30年12月24日の4年。

意見書

- ▷平成27年度畜産物価格決定等に関する意見書
- ▷軽度外傷性脳損傷に関わる周知及び労災認定基準の改正などを要請する意見書
- ▷漁業用燃油にかかる軽油引取税の課税免除措置の堅持に関する意見書
- ▷安全・安心の医療・介護の実現、医療・介護従事者の大幅増員と処遇改善を求める意見書
- ▷必要な介護サービスを受けられるよう求める意見書
- ▷介護保険制度、子ども・子育て支援新制度の充実・強化に向けた平成27年度予算の確保を求める意見書
- ▷年金積立金における被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書

いずれも原案どおり可決され、関係省庁に提出されました。

会議の詳細は会議録で

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録されています。

ご覧になりたい方は、町ホームページを閲覧されるか、議会事務局へお問い合わせください。

また、議会だよりの感想もお待ちしております。

TEL 015-574-2222

FAX 015-574-3955

(議会事務局直通)

一般質問

■ 質問者 ■
杉野 好行 議員

町の顔、豊頃駅舎の環境は！

Q JR豊頃駅が暗く、掲示物も見えにくい。町として、環境をどう考えるか？

A 宮口町長

基本的に、管理は所有者であるJR北海道が行う。掲示物は、清掃時に期限の切れたものなどを処分している。

Q 無人化になり長年たっているが、事務所と待合室が壁で仕切られ薄暗い。駅に降りたとき、豊頃を感じられるよう、町のジオラマとか、観光写真を掲示してはどうか？

A 宮口町長

担当課と協議して、町内をPRできるような掲示物の展示など、できるだけ明るいイメージの駅にしたい。



JR豊頃駅の内部

Q 中学生の卒業記念に町のジオラマを作成してもらうのはどうか？

A 菅原教育長

義務教育を終了するにあたり、子どもたちが自発的に記念作品を共同制作することは、教育的意義が大きいものと考ええる。実情を確認して検討したい。

大津地域の津波対策は！

Q 国道336の避難所ができ、そ

の後、大津小の避難訓練は？

A 宮口町長

大津小は、10月15日に国道336避難所へ避難訓練を実施している。今後も教育委員会と協議して実施していく。

Q 地域防災組織をどのような考えで進めていくのか？

A 宮口町長

行政区長・各団体で津波避難検討会議を設置し、26年1月に津波避難計画書を作成、各戸に配布した。地域で要援護者を確認しながらお互いに助け合って避難する体制をとっている。今後も地域に協力を頂きながら進めていく。

Q 大津漁協と緊急時の対応を協議しているのか？

A 山本総務課長

漁協では、船出し訓練を実施しており、町職員も状況把握のため参加している。

Q 漁業者にとっては漁具も人命を含めて、漁協と連携を図るべきでは？

A 宮口町長

先の津波時は、漁組の職員、陸にいる漁業者が避難し、その後、道々

が閉鎖され、船等を確認に行けなかったが、やはり人命が大切。漁協の職員とも協議しながら、これからの対応を考える。

Q 津波には、避難経路の拡幅確保が急務。避難経路整備の進捗状況は？

A 宮口町長

国道336交差点から避難所までは整備ができています。大津から336交差点の道々については、できるだけ早く整備されるように道に要請していく。年明けにはある程度、計画の形が見えてくると考えています。

高齢者住宅と福祉ゾーン構想との関連は！

Q 福祉ゾーン構想とは？

A 宮口町長

都市計画法を有しない本町で、福祉の目的に沿った土地の利用計画、いわゆる福祉ゾーン整備計画を策定することで、介護・福祉計画事業を着実に実行できる。豊頃医院、各福祉施設が集中する茂岩栄町エリアを指定し、各団体と連携し、包括的な高齢者対策を行う構想。



Q 本年、茂岩栄町、福祉ゾーンに高齢者住宅用に用地を買収したが、何時頃、どのような形になるのか？

A 宮口町長

本町は高齢化率が高くなっているため、早急な対策が必要。高齢者住宅は、豊頃医院など医療・介護・福祉施設が集中している福祉ゾーンにおいて、様々なサービスの提供が効率よく行える。来年度には、予算の範囲内で、高齢者住宅を建設し、福祉の向上を図りたい。



町社会福祉協会が入る福祉センター事務所

Q 福祉センターは改修され、今後、福祉活動の拠点となると考えるが、どのような利用計画なのか？

A 宮口町長

福祉センターには、町社会福祉協議会に入っていただき、治水事務所跡地には、社協が進める福祉サービスの活動拠点となる施設建設を計画。また、福祉センターの管理は、社協に委託を予定している。

Q ボランティアも高齢化により少なくなっていると聞く。社協に大きな負担とならないような形で新たな拠点施設が十分活用されるよう協議していただきたい！

また、福祉ゾーン構想には医療施設の充実も必要と考えるが！

A 宮口町長

福祉の向上については、社協等と協議しながら進めていきたい。福祉ゾーン構想には、医師の協力が必要。医師と協議しながら、職員一丸となり福祉の向上に努める。

町葬斎場の建て替えは！

Q 葬斎場の具体的な建て替え計画は？

A 宮口町長

老朽化しており、近隣町村との共同設置も考慮したが、調整がつかなかった。建て替えについては来年度に計画し、再来年度に実施したいと

考えている。



築35年経過の葬斎場

我が町の外国語教育の進め方は？

Q 外国語教育について、我が町の特化した教育をどのように考えているのか？

A 宮口町長

外国語教育は、重要。来年度も、姉妹都市サマラランドからAETを迎える準備をしている。また、AETとコミュニケーションのとれる職員配置の必要性も感じており、更に外国語教育の向上に努めたい。

一次産業の六次化を！

Q 一次産業の六次化について、国への提案事業をどのように考えるか？

A 宮口町長

本町は、湿害に強い農業、育てる漁業が安定してきている。これからも安定した経営が維持されるよう、支援していきたいが、生産から販売までを、本町で行うのは難しい。

Q 地方版総合戦略の今後の考え方、また、一次産業をどのように展開していく考えなのか？

A 宮口町長

本町は、第一次産業の規模が大きくなっており、高い生産性を持つ現在の状況を維持していくのが最良だと考える。町として、基盤整備などに、財政の許す限り支援をしていく。

菅谷 誠 議員

特別養護老人ホームの移転は！

Q 特別養護老人ホームは、高齢者や介護を必要としている人には、生



現在の特別養護老人ホーム

きる喜びを与えてくれる施設と考えるが、町長はどう考えるか？

A 宮口町長

社会福祉法人豊頃愛生協会が運営している特養は、高齢化が進む本町にとっても、重要な施設。

Q 現在、特養施設は、かなり老朽化しているが、町長はどう考えるか？

A 宮口町長

特養は、鉄筋の構造なので耐用年数はまだあるが、機能的にはかなり古くなっているのが現況。しかし、運営主体は法人なので、行政として

運営に口を挟むべきではない。相談があれば積極的に、地域の福祉向上のため対応したい。

Q 特養建て替えについて、法人からの話はあるのか？

A 宮口町長

正式な話はない。

Q 茂岩栄町の地域密着型施設と併設して建設した方が効率的では？

A 宮口町長

町としては、茂岩小跡地が理想的と考えるが、法人が決定することなので、町が判断することではない。

Q 法人から町に話があった場合、財政負担も考えて対応するのか？

A 宮口町長

話ができれば、福祉向上のため、積極的に対応したい。

Q 特養が移転となった場合、茂岩小跡地は面積的に問題がないか？

A 宮口町長

建物の規模にもよるが、面積は十分あると考えている。

■ 質問者 ■
大谷 友則 議員

宿泊施設の充実を！

Q 商工会で、広域連携事業として「東十勝ロングトレイル事業」など、交流人口増加の取り組みをしているが、宿泊場所の問題が事業の妨げになっている。町として宿泊施設をどう考えるか？

A 宮口町長

商工会が中心となっている事業は、継続が重要。来年度は、町制50周年事業や報徳サミット全国大会もあり、宿泊施設は必要。現在の宿泊施設は、現ロイヤルホテル経営者が独自に整備計画を進めている。その状況により、今後の対応を考える。

Q 管内では、コテージ等の施設を作り、予約でいっぱいとも聞く。そのように、何らかの方策をとっていくべきでは？

A 宮口町長

他から来る人の宿泊の場は確保したい。現ホテル経営者の整備計画の進捗により考えていきたい。

Q 年度当初、町長は「現ホテルが

改善を約束した」と報告したが、未だ実現していない！

A 宮口町長

改善は、資金調達などの問題で遅れていると聞く。現ホテルの改築には町費は考えていない。また、別の施設で宿泊の可能性も考えている。



現在の十勝ロイヤルホテル

Q その別の施設を充実させて、来町者の宿泊に対応できないか？

A 宮口町長

その施設は環境整備が必要。子どもたちの合宿等には対応できるが、一般の旅行者には対応できない。いづれにしても、現ホテルの整備状況により、町として今後の判断をする。

委員会しポート

総務文教常任委員会で11月26日に、「小・中学校連携教育について」所管事務調査を行いました。

1 調査の経過と結果

(ア) 豊頃町立学校の概要について

現在、町立学校は、小学校2校、中学校1校の3校となっており、豊頃小学校は、教職員数16名、普通学級6学級、特別支援学級3学級、児童数140名。大津小学校は、教職員数7名、普通学級3学級（複式）、特別支援学級1学級、児童9名。豊頃中学校は、教職員数16名、普通学級3学級、特別支援学級3学級、生徒数78名となっている。

(イ) 小中学校連携教育の経過について

平成16年6月の定例校長会議において、教育委員会は、義務教育の9年間で生きる力を養う連携した期間となるよう小中学校連携教育の方針を説明し、各校教職員の理解を求めるとともに、実践化方策の研究を依頼した。

それを受け、校長会は、平成17年2月に、「小中学校間交流を考える」をテーマに、「校長会学校

経営研修会しポート」として、学校間の交流の目的、交流実情、当該年度の評価、次年度に向けての事業等をまとめ、平成17年度から、教職員の理解と実践化方策の研究を始めた。

そして、平成19年8月に、「豊頃町小・中学校連携教育推進会議」を設置し、新豊頃小学校が開校したことを踏まえ、小・中学校3校間のより望ましい連携や接続の在り方について、総合的な観点から実践研究をすすめている。

また、平成19年度には、「報徳のおしえ」を基盤とする小・中学校相互の連携教育を推進するため、学校教職員やPTAの代表により、「豊頃小・中学校連携教育推進会議」を設置し、連携教育に関する実践研究や、先進地視察などを実施している。

平成20年度からは、「報徳のおしえ」をテーマとした、小・中学生合同授業や各学校で公開授業を実施している。

(ウ) 連携教育の推進状況について
 具体的な実践内容としては、平成17年度から、各小学校において、「報徳のおしえ」に関する学習機会を設け、平成18年度には、「豊頃中学校吹奏楽部の大津小学校派遣」や、「豊頃中学校体育教諭が豊頃小学校にて体育授業」を実施している。

平成21年度からは、文科省の道徳教育実践研究事業や、北海道道徳教育推進校事業、更に十勝教育委員会連絡協議会研究奨励事業の研究実践指定を受け小・中学校の交流授業や、教職員の交流事業を実施している。

そのほかにも、小中合同クリーン作戦、合同給食会、報徳町内めぐりや、「報徳のおしえ」講演会など多くの事業を展開している。

(エ) 成果と課題について

成果については、各小中学校において道徳に「報徳のおしえ」を関連付けて教育課程に組み込むことと、各学年に応じた連続性のある指導を行うことができるようになったこと、「報徳のおしえ」に関する教職員の理解を深めるため「報徳町内めぐり」や「報徳のおしえ」に関する講演会を実施する



小中合同クリーン作戦



小中合同給食会



教職員町内めぐり

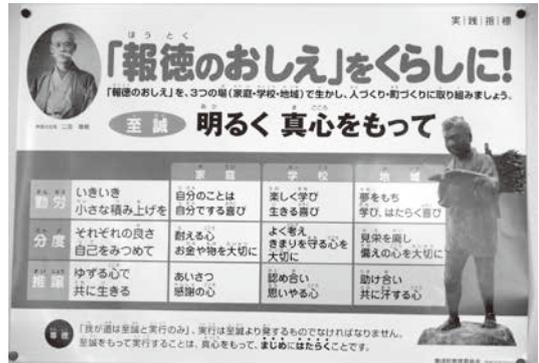
ことで、授業づくりの工夫・改善に効果をあげることができたこと。また、各小中学校が、授業交流することで授業内容を理解し、具体的な連携の方法を研究することができたことがあげられる。

課題については、各小中学校の教員が日常的に情報交流のできる体制の検討と今後の小中学校一貫教育の制度化を見据え、現行の「町小・中学校連携教育推進会議」と「町学校教育振興会」との一本化を図り、研究・実践を進める必要があることがあげられる。

2 まとめ

小・中学校連携教育は、既に10年の実績があり、「報徳のおしえ」を柱とした、各種事業を通じて、相互の理解が図られるようになってきている。今後も、小・中学校連携教育の制度化を見据え、現行の各組織の一本化、更なる研究・実践の推進など、今後の方向性を定めていく必要性を確認した。

また、委員から、学校間で情報を共有することにより、いじめ問題や登校拒否問題などの解消につながられるのではとの意見が出された。



報徳のおしえ

議員全員協議会で

町内新施設等を視察

12月10日に、議員全員協議会で、新規導入された消防水槽車、改修が終わった「豊頃町福祉センター」(旧茂岩河川事務所)、試験稼働を開始した茂岩高台太陽光発電所を視察した。

消防水槽車は、車両価格4千390万2千円で、積載量10トン、全長約9メートル、幅約2.5メートル、高さが約3.1メートルで、車両総重量約22トンとなっている。

この水槽車は、小型動力ポンプを搭載しており、放水することができ、泡混合装置により、水に泡を混合して、泡放水も可能となっている。

改修が終わった福祉センターは、鉄筋コンクリート構造2階建てで、玄関には、車椅子用のスロープも設置され、1階事務所に社会福祉協議会が入る予定となっている。2階には、会議室、交流活動室が配置され、今後、福祉活動の拠点の場として期待される。総改修費5千508万円。



新規導入の消防水槽車

茂岩高台に新しくできた「ユーラス豊頃ソーラーパーク」は、株式会社ユーラス豊頃太陽光が、敷地面積約45ヘクタールに、太陽電池モジュール8万3千760枚を設置し、太陽光により発電された電力を、北海道電力に売却するもので、来年1月から営業運転開始の予定となっている。年間の発電量は、家庭約8千200世帯分の予想となっている。

第3回臨時会（11月26日）

▼専決処分の承認

平成26年度一般会計予算に議場の音響設備老朽化に伴う更新経費として648万円を歳入歳出予算に追加し、予算の総額を43億5千495万円とする一般会計補正予算第6号の専決処分を承認。

▼専決処分の承認

平成26年度一般会計予算に衆議院解散選挙に伴う経費として、450万円を歳入歳出予算に追加し、予算の総額を43億5千945万円とする一般会計補正予算第7号の専決処分を承認。

※専決処分とは、議会を開くいとまが無いときなど、議会にかわつて町長が処分（決定）すること

【条例制定等】

▼豊頃町職員の給与に関する条例の一部改正

▼豊頃町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

▼豊頃町特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正

▼豊頃町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正

4条例の改正は、平成26年度人事院の給与改正に関する勧告に伴い、職員・特別職・教育委員会教育長の給与及び議会議員報酬を改正した。

【補正予算】

平成26年度人事院の給与改正に関する勧告に伴い、給与及び議会議員報酬額を補正。一般会計補正予算第8号、介護保険特別会計補正第2号、簡易水道特別会計補正第3号、公共下水道特別会計補正第1号。金額については、●ページに記載。

※金額は、一万円未満を四捨五入しています。

大津小学校児童が

議会傍聴

大津小学校6年生の3名が、11月26日に開催された第3回臨時会を傍聴しました。

この傍聴は、社会科の授業の一

環として行われたもので、児童たちは条例改正案、補正予算案の審議を真剣に聞き入っていました。



議長に質問する児童たち

また、3人は臨時議会終了後、正副議長室で、小野木議長と藤田副議長にインタビュを行い、「議長はどう決めるのですか。」「大津保育所をつくる予算はいくらですか。」「お仕事は大変ですか。」など緊張しながらも、議会のいろいろな事柄について、メモをとりながら、用意してきた質問をしていました。

議会日誌

〔10月〕

17日 十勝議長会主催議員研修会

24日 札幌豊頃会

〔11月〕

8日 東京豊頃会

12日 全国議長大会

26日 第3回臨時会

〔12月〕

5日 議会運営委員会

10日 第4回定例会（1日目）

（補正予算、その他）

総務文教常任委員会

16日 第4回定例会（2日目）

〔1月〕

21日 第1回臨時会

議員全員協議会

◎今後の予定
〔3月上旬〕 第1回定例会